

校種	④ ・ 中	学校番号	6 7	学校名	宇都宮市立岡本北小学校
----	-------	------	-----	-----	-------------

平成 22 年度 学校経営の概要及び特色ある学校づくりに関する取組

1 学校経営の理念

学校教育目標の具現化を目指して全教職員が一丸となり、創意と活力にあふれる教育活動を展開するとともに、「安全で安心できる学校」「明るく楽しい学校」「地域から信頼される学校」を目指す学校づくりを推進する。

2 教育目標

(1) 基本目標

個々の特性や能力を最大限に伸ばし、心身ともに健康で、創造性と実践力に富み、「知」「徳」「体」の調和のとれた、心豊かな児童の育成を推進する。

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

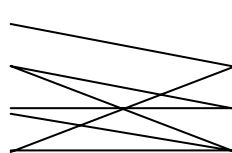
子どものスローガン

「健康で明るい子ども」

「よく考えてはんだんできる子ども」

「思いやりのある子ども」

「ねばり強く進んでじっせんする子ども」



つよく

やさしく

かしこい子

3 学校経営の方針

(1) 21 世紀に生きる心豊かな人間を目指し、その基盤となる資質や学力の向上に努める。

ア 知的能力、道徳性、健康な身体を基盤に、主体性、豊かな感性、柔軟な適応力、寛容な態度等の育成をする。

イ 心の豊かさを求め、児童の心に内在する豊かな情操、感受性、畏敬の念を育てるとともに、自然愛護、生命尊重、思いやり、奉仕の精神等、豊かな心を持ち、たくましく生きる人間の育成をする。

ウ 生涯学習の一環としての学校教育の役割を自覚し、自ら学ぶ意欲や主体的な学習の仕方をつけ、思考力、判断力、表現力及び実践力等の基礎的な能力や態度を育成する。

エ 体験的な学習や問題解決的な学習を多く取り入れて、自ら学ぶことの楽しさや成し遂げた満足感を体得させ、継続した学習意欲の高揚と生きる力の育成をする。

オ 日本の文化と伝統を尊重し大切にすると共に、外国の歴史や文化についても関心と理解を深め国際社会に生きる日本人の一員として行動ができる資質や能力、態度を育成する。

(2) 教育者としての使命を自覚し、自己研修に努めるとともに、愛情と信頼、創意と工夫によるいきいきとした教育活動の推進に努める。

ア 新しい教育の方向性を強く認識し、教育の内容や方法についての研修を積極的に実践する。

イ 教育公務員としての自覚と責任を強く認識し、日常生活における容姿、応対、言葉遣い等に細心の注意を払った言動をする。

ウ 全教職員による学校課題の検討と、推進計画の策定及び解決のための組織的、計画的な研修を通して資質の向上を図る。

エ 新しい学力観に立つ授業の工夫と改善を行い、「わかる楽しい授業」の構築に努める。

オ 児童一人一人の特性をとらえた支援やいきいき活動を企画し、積極的な教育活動を実践する。

(3) 社会的規範の中で、基本的な生活習慣や健康で安全な生活を、自ら律していける能力をもった児童の育成に努める。

ア 基本的な生活習慣や学習習慣及び態度の育成を図る。

イ 健康で安全な生活を営むための基本的な生活習慣を培い、主体的に健康の維持向上に努める態度を育成する。

- ウ 生活に目標をもち、その実現に向かって粘り強く取り組み、困難に耐え得る強靱な意志力を育成する。
- エ 進んで運動に親しみ、自ら心身の鍛錬に努力する、心身共に健康な児童を育成する。
- オ 危険に対する的確な予知能力と判断力を身につけ、命の大切さや自他の安全を考えて行動しようとする能力、態度を育成する。
- (4) 「宮っこ未来ビジョン」の趣旨をふまえ、明るく活気にあふれる教育活動を実践しながら、心豊かでたくましく生きる児童の育成と好ましい校風づくりに努める。
- ア 開始時刻を守ることや話の聞き方等を、教職員の共通理解の下に全校体制で取り組み、より一層充実した基本的生活習慣の育成に努める。
- イ 「いじめをしない、させない、許さない」望ましい集団づくりのため、人権教育の充実と教育活動の推進を図る。
- ウ 安全で安心な学校を目指し、交通安全や生活安全に係わる指導の充実を図る。
- エ 健康で規則正しい生活や、望ましい食習慣の定着を図るための指導の充実を図る。
- オ 朝の読書の時間や国語・算数の授業時数を確保するとともに、分かる授業の実施や積極的な学習支援に努める。
- (5) 開かれた学校づくりを目指し、家庭や地域社会との連携・融合を図り、相互に補完し合いながら、地域に根ざした教育活動の推進に努める。
- ア 家庭や地域社会との連携を密にし、相互に協力し合って児童の健全育成を図るようにする。
- イ 広報活動の充実を図り、地域社会に積極的に働きかける教育活動を推進する。
- ウ 開かれた学校づくりのため、地域の教育力を活用し、教育活動の充実と活性化を図るとともに学校開放日や施設の開放、そして地域行事への積極的な参加と地域の文化的中心としての役割を担うように努める。

4 特色ある学校づくりに関する取組

- (1) 育てたい資質・能力
- 人や動植物とのふれあいを大切にしたい、豊かな体験活動を通して「心の教育」を推進することにより、感性豊かで、新しい時代を生き抜く資質や能力をもった態度を育成する。
- (2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」関連には、文頭に◇）
- ① 「心の教育」の推進
 - ・ ◇あいさつ運動（児童会による「朝のあいさつ運動」）
 - ・ 縦割り班清掃（高学年のリーダーシップ育成と異学年の教え合い助け合い）
 - ・ 朝の読書（毎朝）
 - ・ P T A図書館ボランティアや図書館司書による読み聞かせ
 - ・ 箏と尺八演奏、チェロとギター演奏、茶道体験
 - ② 動植物の飼育・栽培
 - ・ うさぎや鯉の飼育
 - ・ なかよし花壇での花栽培と教材園での野菜栽培
 - ③ 福祉教育の推進
 - ◇ アイマスク、点字、車椅子、手話、高齢者疑似、盲導犬などの各種体験
 - ④ 高齢者との交流
 - ◇ 昔遊び、グランドゴルフ
 - ⑤ 子ども会連合会との交流
 - ・ 支部ごとの「夏休みクリーン作戦」
 - ・ チャレンジランキング
 - ⑥ ケイタイ安全教室（N T T）
 - ⑦ 「食育出張授業」 カルビー、モスバーガー、東京ガス、大塚製薬(ポカリスエット)